

若葉区において中型獣の集中捕獲を実施します
～モデル地区を新たに設定し、地域ぐるみで農作物の被害低減を図ります～

千葉市では、アライグマ、ハクビシン等中型獣の定着を防ぎ、農作物の被害低減を図るため、今年度から若葉区の鹿島川流域にモデル地区を設定し、捕獲や侵入防止などの対策を行うこととしました。

このたび、モデル地区において、令和5年度中型獣集中捕獲を実施しますので、お知らせします。

1 経緯

本市の令和3年度の有害鳥獣被害額は1,241万円で、そのうちアライグマ、ハクビシン等の中型獣による被害額は570万円と約46%を占めています。

令和4年度以降も被害が続いていることから、今年度、新たに若葉区の鹿島川流域にモデル地区を設定し、専門知識を有する有害鳥獣アドバイザーの協力の下、モデル事業として中型獣の集中捕獲等を行うこととしました。

2 概要

(1) 実施主体等

- ア 実施主体 千葉市鳥獣被害防止対策協議会
※千葉市、JA、猟友会等で構成する組織
- イ 協力先 合同会社AMAC（エーマック）

(2) 実施期間

令和5年6月15日（木）～9月15日（金）

(3) 実施場所および規模

若葉区且谷町、谷当町、下田町、下泉町、大井戸町に箱わなを50台設置

(4) その他

捕獲に当たっては、モデル地区内の農業従事者にもわなの見回りや捕獲された際の連絡等を依頼し、地域と一体となって捕獲作業を行います。



箱わなの例

3 今後の方向性

本取り組みの成果は、被害報告のある他地区における集中捕獲でも活用し、農作物被害の軽減に努めます。